



まちなかスタジアム整備に関する

要 望 書

令 和 8 年 1 月

一般社団法人 鹿児島県サッカー協会

鹿児島県ラグビーフットボール協会

鹿児島ユナイテッドＦＣ

まちなかスタジアム整備に関する要望書

まちなかスタジアム整備については、先般、鹿児島県および鹿児島市において、引き続き「オール鹿児島」で取り組むことが確認されたところであります。今後も、鹿児島県、鹿児島市、クラブ、企業並びに関係団体等が相互に連携し、一体となって取り組んでいく必要があるものと考えております。

現在、鹿児島県と鹿児島市の不断の協議の成果として、候補地が2箇所に絞り込まれ、比較検討の段階へと進みつつある旨が報道されております。こうした動きを受け、スタジアム整備の機運が着実に高まっているものと、私どもも強く認識しております。

この間、鹿児島県サッカー協会、鹿児島県ラグビーフットボール協会、鹿児島ユナイテッドF C（以下、「3団体」という）は、3団体が主催する大会やイベントを中心に、県民・市民および競技関係者に対し、「まちなかスタジアム整備」への賛同署名活動を実施いたしました。

署名活動の結果、以下のとおりです。

合計 : 1 0 0 , 3 0 2 筆

なお、2016年12月に実施したスタジアム整備に関する署名（73,863筆）と比較しても、今回の賛同者数は大幅に増加しています。これは、鹿児島ユナイテッドF Cを中心とするスポーツ文化が地域に着実に根付き、ホームゲームでは県内外から多数のファンが来訪され、地域の賑わい創出に寄与していることが背景にあると考えております。

また、まちなかスタジアムが整備されることで、

- 県民・市民の健康増進と地域コミュニティの活性化
- 観光・交流人口の拡大による地域経済効果
- プロスポーツキャンプ・代表戦・各種大会等の誘致による更なる活力の創出

- 子ども・若年層へのスポーツ文化の醸成と教育効果
など、多面的かつ中長期的な恩恵が期待されます。

以上の状況を踏まえ、3団体といたしましては、下記事項につきまして特段のご配慮を賜りますよう、謹んで要望申し上げます。

記

- まちなかスタジアムの早期実現
- 整備検討に係る議論において、3団体との意見交換
の場を設けていただくこと

令和8年1月19日

一般社団法人 鹿児島県サッカー協会

会長 川 畑 佑 樹

鹿児島県ラグビーフットボール協会

会長 渡 辺 丈

鹿児島ユナイテッドFC

代表 湯 脇 健一郎